

# 財政事情



令和5年11月

鹿児島県阿久根市

## まえがき

ここに公表しました「財政事情」は、市民の皆様に市財政の実態や主要施策などについて御理解いただくために、地方自治法第 243 条の 3 第 1 項及び阿久根市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の規定により、毎年 5 月と 11 月の 2 回、定期的に公表するものです。

今回は、令和 4 年度の決算と令和 5 年度上半期（令和 5 年 9 月 30 日現在）における予算の執行状況及び市有財産の状況などについて、そのあらましを説明します。

(※ 本公表に当たって、決算額等の金額については、数処理を行っているため、合計・差引が一致しない場合がありますのであらかじめ御了承ください。)

## 目次

### I 令和 4 年度阿久根市の決算の公表について

- 1 全会計における決算状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 一般会計における決算状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 財産の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

### II 令和 5 年度上半期における予算の執行状況及び市有財産の状況などについて

- 【第 1 表】 令和 5 年度 一般会計予算執行状況・・・・・・・・・・・・ 10
- 【第 2 表】 令和 5 年度 特別会計予算執行状況・・・・・・・・・・・・ 11
- 【第 3 表】 令和 5 年度 住民負担の状況・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 【第 4 表】 令和 5 年度 財産の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 【第 5 表】 令和 5 年度 公債・一時借入金の現在高・・・・・・・・・・ 14

# I 令和4年度阿久根市の決算の公表 について

## 1 全会計における決算状況について

### (全会計合計で7億1,977万円の黒字)

令和4年度の阿久根市における一般会計及び特別会計を合わせた歳入額は207億8,196万円、歳出額は200億5,851万円であり、差引き7億2,345万円の黒字となりました。事業等の繰越により翌年度へ繰り越すべき額368万円を差し引いた実質収支についても、7億1,977万円の黒字となっています。

しかし、阿久根市はその財源の多くを国や県に依存している状況に変わりはありません。

今後も国や県の動向に注視しつつ、歳入状況を的確に捉え、各種事業の執行においてその効果や緊急性を十分協議・検討を行い、経費の削減に努め、市民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、適正な財政運営を行ってまいります。

### 令和4年度会計別収支決算一覧表

会 計 別	歳入決算額	歳出決算額	差引額	翌年度繰越	実質収支	
一 般 会 計	140億 7,630万円	135億 4,197万円	5億 3,433万円	368万円	5億 3,065万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	29億 9,191万円	29億 6,585万円	2,606万円	0万円	2,606万円
	交 通 災 害 共 済	639万円	463万円	176万円	0万円	176万円
	介 護 保 険	33億 2,768万円	31億 6,674万円	1億 6,093万円	0万円	1億 6,093万円
	後 期 高 齢 者 医 療	3億 7,969万円	3億 7,931万円	38万円	0万円	38万円
合 計	207億 8,196万円	200億 5,851万円	7億 2,345万円	368万円	7億 1,977万円	

## 2 一般会計における決算状況について

### (1) 歳入 140 億 7,630 万円

(前年度比 △7 億 2,681 万円 4.9%減)

阿久根市の主な歳入は、「地方交付税」、「市税」、「国庫支出金」となります。

「地方交付税」については、過去最大であった平成 12 年度では約 54 億円であり、平成 28 年度以降は約 42 億円程度で推移していましたが、令和 4 年度は令和 3 年度に続き、再算定が行われ、約 46 億円に増加しました。

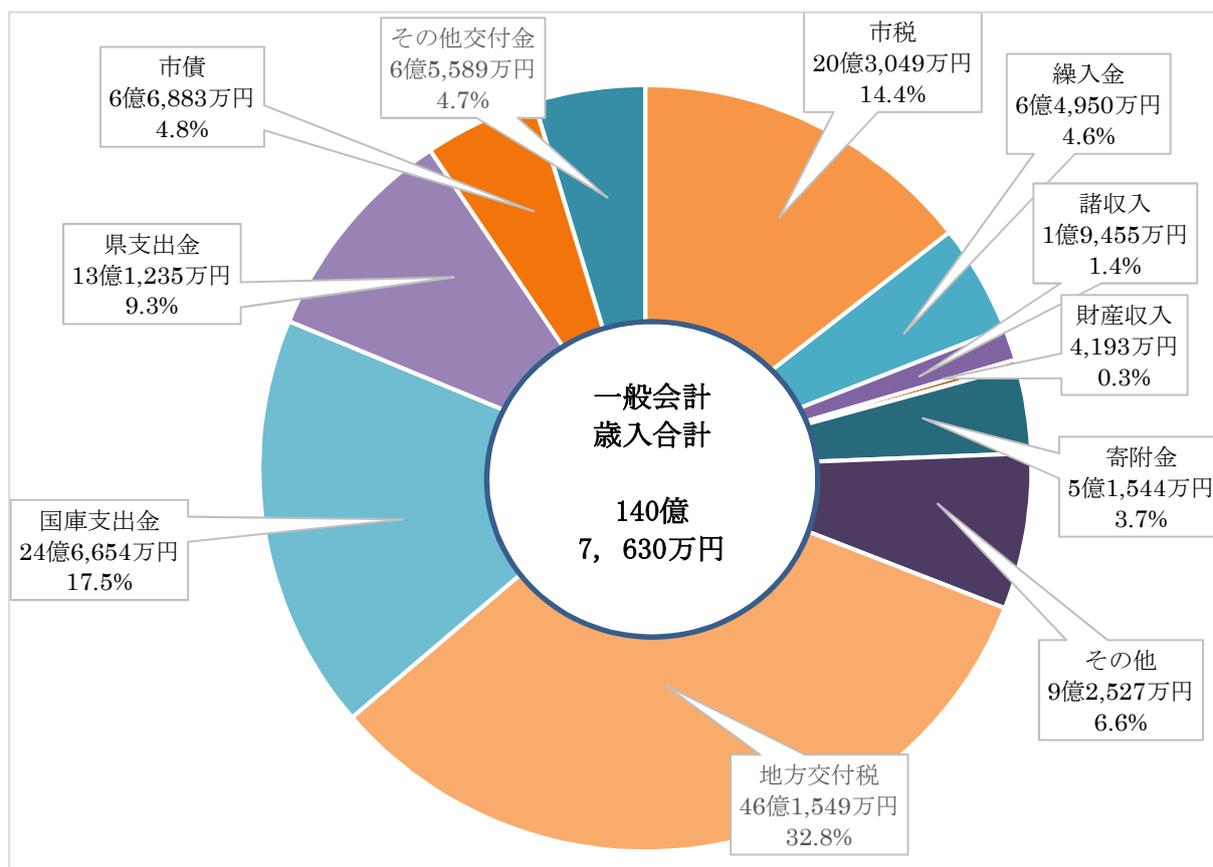
「市税」については、市民の皆様から納めていただいた税金で、総額約 20 億円であり、前年度と比較して若干増加しました。

「国庫支出金」については、国の補助金等を活用した公共事業等の実施に充てる財源として、約 24 億円交付されています。子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業の減少により前年度より約 5 億円、18%減少しています。

歳入のうち、市独自の財源（自主財源）は、約 43 億円（歳入比 31.0%）であり、その他の財源の多くを国や県に依存している状態（依存財源 歳入比 69.0%）にあります。

今後も自主財源の確保のため、市税における収納率の向上やふるさと納税の推進など新たな財源の確保が求められます。

令和 4 年度一般会計決算における歳入構成



令和 4 年度一般会計決算における収入比率

項目	自主財源	依存財源
主な収入科目	市税, 財産収入など	地方交付税, 国県支出金など
歳入総額	43 億 5,718 万円	97 億 1,910 万円
構成比率	31.0%	69.0%

## (2) 歳出 135 億 4,197 万円

(前年度比 △5 億 3,433 円 3.8%減)

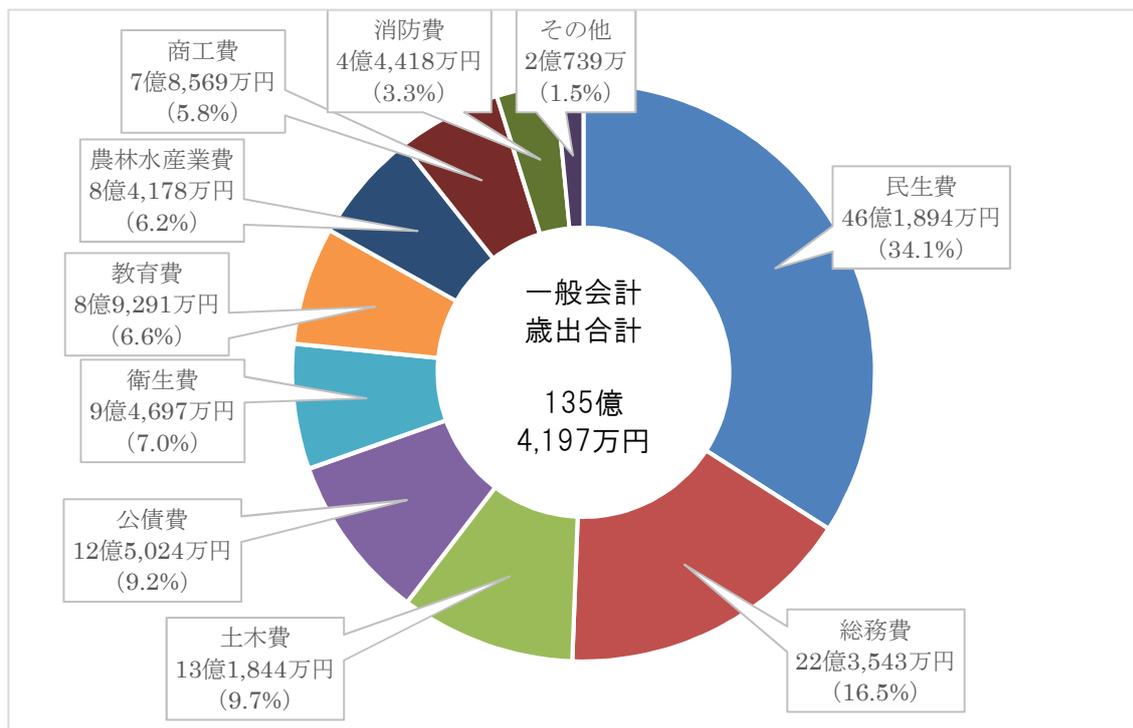
令和4年度の主な歳出については、「民生費」、「総務費」、「土木費」となります。

「民生費」については、46 億 1,894 万円が支出され、歳出総額の 34.1%を占めており、前年度より 4 億 2,534 万円、8.4%減少しました。ひとり親家庭や子ども医療費等の助成を始めとする児童福祉 (13 億 4,418 万円)、障がい者支援 (11 億 3,564 万円)、生活保護 (2 億 9,707 円)のほか、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業 (1 億 7,730 万円) など市民の皆様の福祉向上のために使われています。

「総務費」については、22 億 3,543 万円が支出され、歳出総額の 16.5%を占めており、前年度より 6 億 5,106 万円、22.6%減少しました。令和4年度はふるさと納税 (クラウドファンディング) を活用し、地域内再生可能エネルギー活用モデル構築事業の実施主体である企業への出資 (9,600 万円) などを行いました。

「土木費」については、13 億 1,844 万円が支出され、歳出総額の 9.7%を占めており、前年度より 2 億 4,441 万円、22.8%増加しました。市道等のインフラ保全として道路維持 (1 億 4,875 万円)、橋りょう維持 (1 億 8,660 万円)、河川維持 (2,693 万円) に使われています。また、令和4年度は番所丘公園オートキャンプ場整備工事 (2,935 万円) などを行いました。

令和4年度一般会計決算における歳出構成



### 市民1人当たりに使われた金額

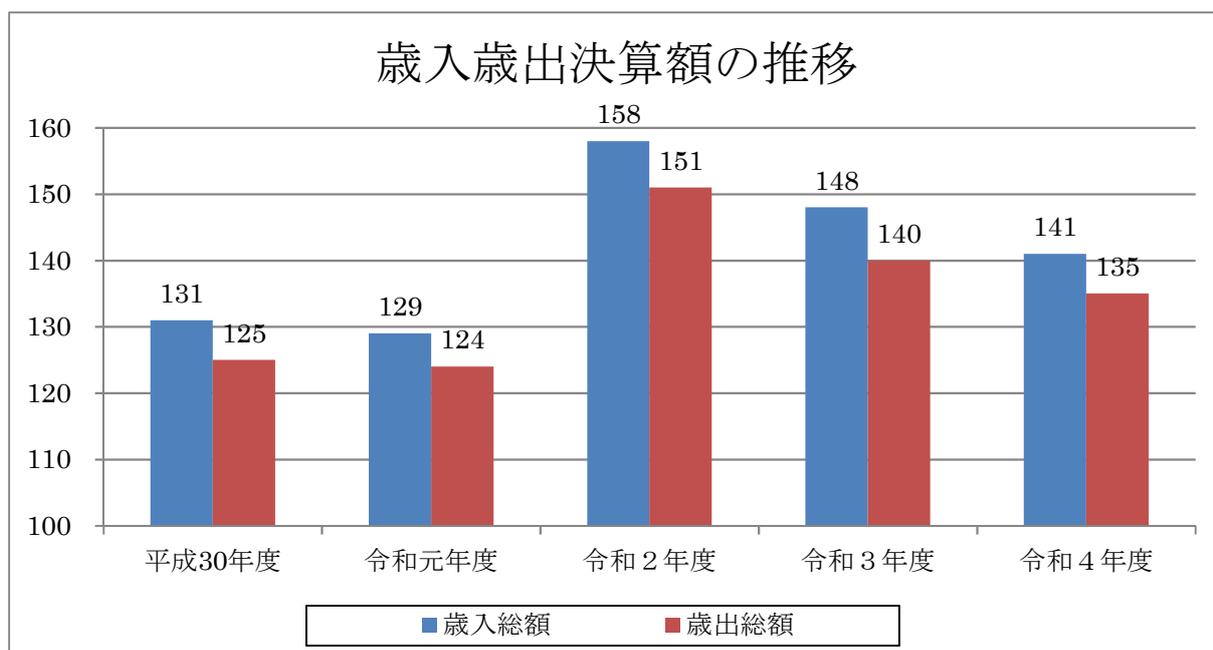
(令和5年3月31日現在 住民基本台帳人口 18,743人)

**一般会計 72万2,508円**

民生費	24万6,436円	教育費	4万7,640円
総務費	11万9,267円	農林水産業費	4万4,912円
土木費	7万343円	商工費	4万1,919円
公債費	6万6,704円	消防費	2万3,699円
衛生費	5万524円	その他	1万1,065円

### (3) 決算規模と決算収支の推移

( 単位：億円 )



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入総額	130億 5,493万円	128億 6,444万円	158億 1,277万円	148億 310万円	140億 7,630万円
歳出総額	124億 7,942万円	123億 6,420万円	150億 5,259万円	140億 4,778万円	135億 4,197万円
実質収支	4億 2,587万円	4億 5,149万円	5億 7,530万円	7億 3,428万円	7億 1,977万円

歳入総額 140億 7,630万円から歳出総額 135億 4,197万円を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、7億 1,977万円の黒字となっています。

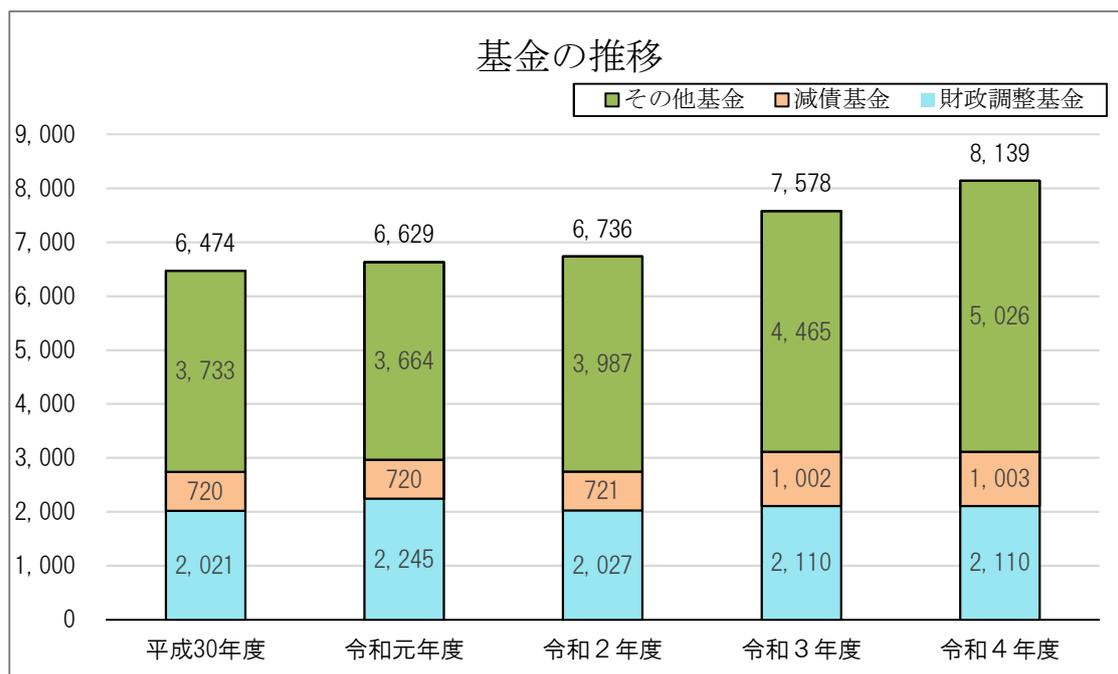
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等に係る交付金や支出が減少したことにより、令和2年度及び3年度と比較し歳入歳出額が減少しており、本市を取り巻く財政事情は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

このため、新たな財政需要や大規模事業等に対応できる財政運営に努め、事務事業の執行については、「緊急性」、「必要性」、「住民ニーズ」に留意しつつ、財政の安定化、健全化に取り組む必要があります。

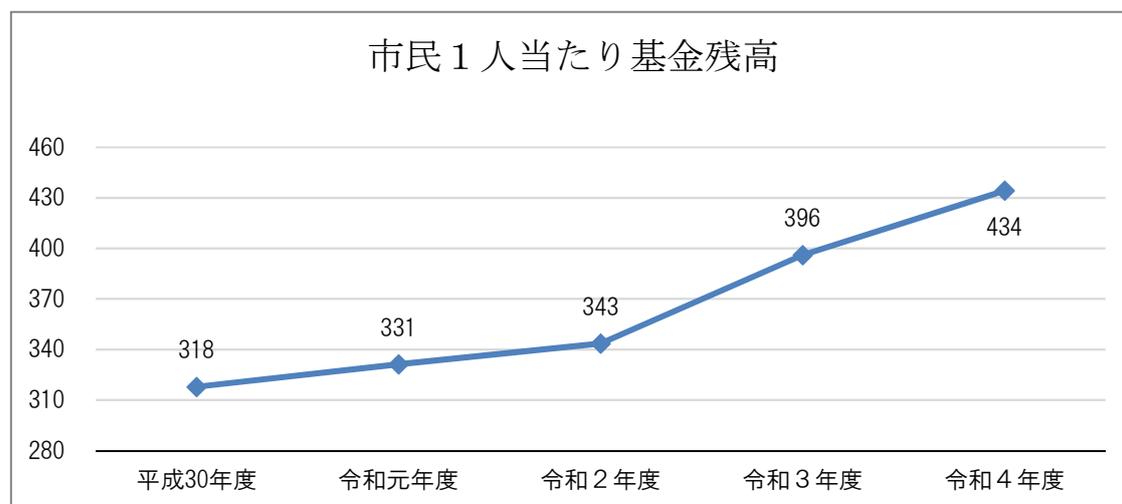
また、「後年度負担の少ない財政運営」、「必要最低限の市債発行」に努めるべく、国・県等の補助金について有効活用を図っていく必要があります。

#### (4) 基金の推移

( 単位：百万円 )



( 単位：千円 )



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基金残高	64億 7,404万円	66億 2,867万円	67億 3,598万円	75億 7,772万円	81億 3,921万円
市民1人当たりの基金残高	31万 8,000円	33万 1,000円	34万 3,000円	39万 6,000円	43万 4,000円

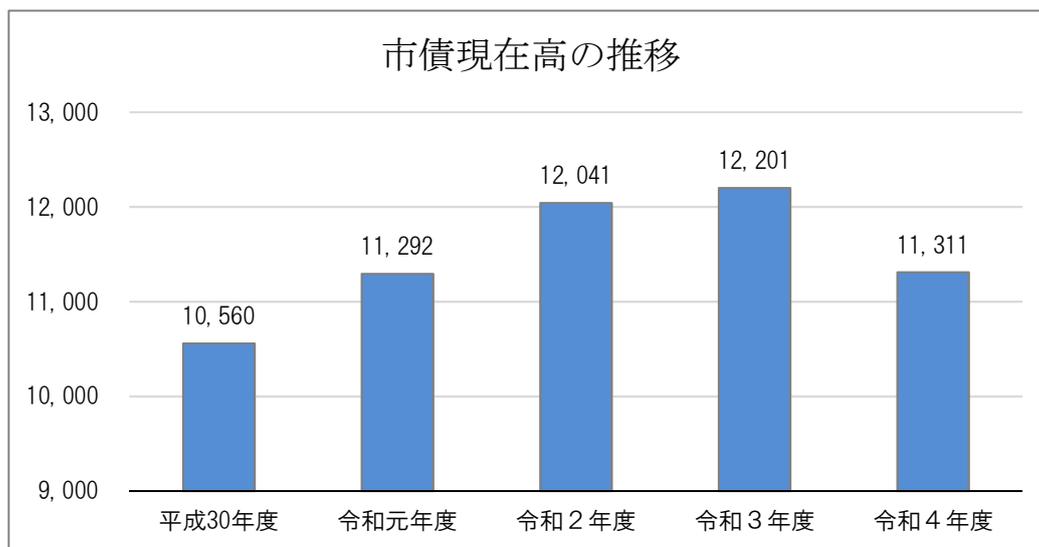
令和4年度末の基金残高の総計は、81億3,921万円となりました。

厳しい財政運営が続いている中、年度ごとに小幅な増減はあるものの、毎年度積立てを行い、予期せぬ災害や大規模事業の原資として、また将来への備えとして着実に残高を増やしてきました。

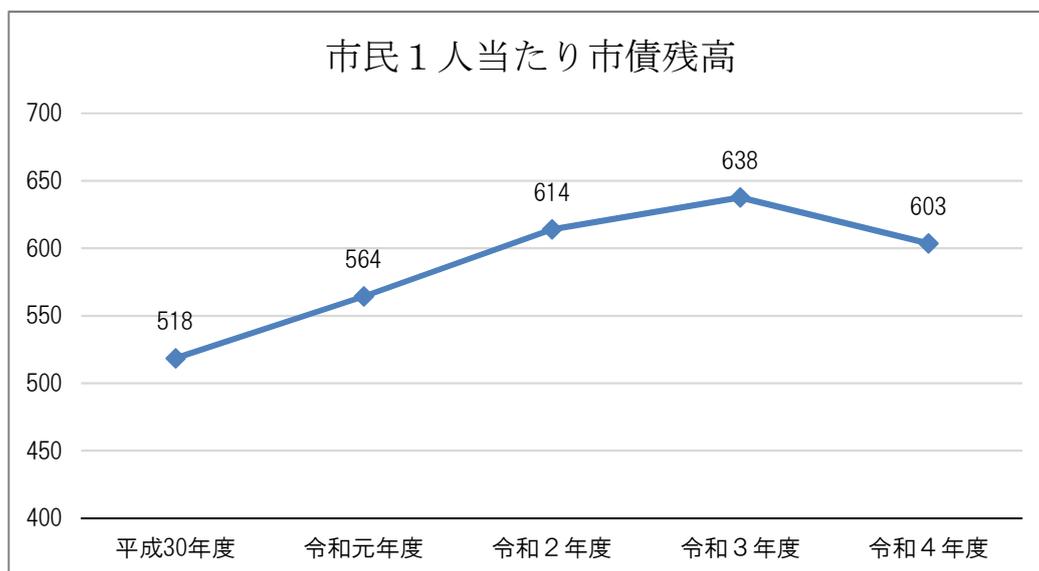
その結果、10年前の平成23年度末残高（44億92万円）と比較し、37億3,829万円（平成23年度比約85%）増えています。今後については、市債発行を必要最小限に抑えるためにも基金の有効活用を図っていく必要があります。

## (5) 市債の推移

( 単位：百万円 )



( 単位：千円 )



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市債現在高	105億 6,022万円	112億 9,231万円	120億 4,112万円	122億 115万円	113億 1,118万円
市民人当たりの市債残高	51万 9,000円	56万 4,000円	61万 4,000円	63万 8,000円	63万 8,000円

令和4年度末の市債残高は、113億1,118万円となりました。

10年前の平成23年度末残高(102億6,250万円)と比較し、平成29年度からの大型事業の実施に伴い、市債残高は10億4,868万円の増加となりました。

市債を発行することにより、単年度に多額の費用を要する事業を実施する際に必要となる資金を調達するとともに年度間の財政負担を平準化し、円滑な財政運営を行うことができます。

また、市債の中には、後年度に元利償還金の一部を地方交付税により措置されるものもあり、今後も引き続き、このような有利な市債の活用に取り組んでいきます。

### 3 財産の状況について

種 類	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
土 地	m <sup>2</sup> 1,343万4,754	m <sup>2</sup> 1,343万1,478	m <sup>2</sup> 1,343万4,054
建 物	m <sup>2</sup> 12万9,647	m <sup>2</sup> 12万2,894	m <sup>2</sup> 12万2,239
車両・船舶	台 117	台 124	台 123
有価証券	万円 1億9,145	万円 1億9,145	万円 1億9,145
基 金	万円 73億8,884	万円 82億1,870	万円 88億2,142

【土 地】 土地のうち主なものは山林です。

【建 物】 建物のうち主なものは学校、公園、市営住宅などの施設です。

【車両・船舶】 市が保有している公用車や消防車両等です。

【有価証券】 市が保有している株券です。

【基 金】 一般家庭の預貯金に相当するもので、23の基金があります。  
(定額運用基金及び特別会計の基金を含みます。)

## Ⅱ 令和5年度上半期における予算の 執行状況及び市有財産の状況など について

【第1表】

令和5年度 一般会計予算執行状況  
(令和5年9月30日現在)

歳 入		(単位：千円, %)							
款	当初予算額	令和5年4月1日から 令和5年9月30日まで の補正額	前年度からの 繰越事業費	計 (A)	令和5年4月1日 現在収入額	令和5年4月1日から 令和5年9月30日まで の収入額	計 (B)	収 入 率 (B) / (A)	
1 市 税	1,872,649	0	0	1,872,649	0	1,255,806	1,255,806	67.1	
2 地 方 譲 与 税	121,818	0	0	121,818	0	35,260	35,260	28.9	
3 利 子 割 交 付 金	1,000	0	0	1,000	0	256	256	25.6	
4 配 当 割 交 付 金	3,000	0	0	3,000	0	1,476	1,476	49.2	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,000	0	0	2,000	0	0	0	0.0	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	30,000	0	0	30,000	0	14,850	14,850	49.5	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	480,000	0	0	480,000	0	269,567	269,567	56.2	
8 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	4,000	0	0	4,000	0	2,488	2,488	62.2	
9 地 方 特 例 交 付 金	6,000	0	0	6,000	0	10,223	10,223	170.4	
10 地 方 交 付 税	4,150,000	0	0	4,150,000	0	2,883,588	2,883,588	69.5	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,000	0	0	2,000	0	819	819	41.0	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	37,058	0	700	37,758	0	10,865	10,865	28.8	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	123,939	0	0	123,939	0	57,103	57,103	46.1	
14 国 庫 支 出 金	1,644,454	400,949	112,643	2,158,046	0	695,279	695,279	32.2	
15 県 支 出 金	1,074,392	218,179	117,183	1,409,754	0	69,110	69,110	4.9	
16 財 産 収 入	21,764	0	0	21,764	0	15,427	15,427	70.9	
17 寄 附 金	410,002	20	0	410,022	0	99,336	99,336	24.2	
18 繰 入 金	969,329	263,461	0	1,232,790	0	92,107	92,107	7.5	
19 繰 越 金	50,000	0	3,679	53,679	0	534,327	534,327	995.4	
20 諸 収 入	109,795	39,816	0	149,611	0	35,299	35,299	23.6	
21 市 債	786,800	77,400	104,600	968,800	0	2,900	2,900	0.3	
歳 入 合 計	11,900,000	999,825	338,805	13,238,630	0	6,086,085	6,086,085	46.0	

※千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

歳 出		(単位：千円, %)							
款	当初予算額	令和4年4月1日から 令和4年9月30日まで の補正額	前年度からの 繰越事業費	計 (A)	令和4年4月1日 現在支出額	令和4年4月1日から 令和4年9月30日まで の支出額	計 (B)	支 出 率 (B) / (A)	
1 議 会 費	127,113	3,804	0	130,917	0	58,376	58,376	44.6	
2 総 務 費	1,627,601	128,027	0	1,755,628	0	512,008	512,008	29.2	
3 民 生 費	4,528,281	196,688	400	4,725,369	0	1,659,736	1,659,736	35.1	
4 衛 生 費	912,618	87,893	0	1,000,511	0	309,939	309,939	31.0	
5 労 働 費	12,152	0	0	12,152	0	12,151	12,151	100.0	
6 農 林 水 産 業 費	541,063	134,902	92,108	768,073	0	199,605	199,605	26.0	
7 商 工 費	469,268	52,062	25,183	546,513	0	151,581	151,581	27.7	
8 土 木 費	963,006	2,283	215,624	1,180,913	0	362,530	362,530	30.7	
9 消 防 費	490,623	1,109	0	491,732	0	176,672	176,672	35.9	
10 教 育 費	1,116,410	266,669	0	1,383,079	0	475,846	475,846	34.4	
11 災 害 復 旧 費	29,563	136,109	5,490	171,162	0	26,201	26,201	15.3	
12 公 債 費	1,058,802	0	0	1,058,802	0	439,495	439,495	41.5	
13 諸 支 出 金	3,500	0	0	3,500	0	0	0	0.0	
14 予 備 費	20,000	△9,721	0	10,279	(0)	(0)	(0)	0.0	
歳 出 合 計	11,900,000	999,825	338,805	13,238,630	0	4,384,139	4,384,139	33.1	

※補正額には、予備費の充用額を含めて記載しています。

※予備費についての( )による表示数値は、各款に充用し支出した額の再掲です。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

【第2表】

令和5年度 特別会計予算執行状況  
(令和5年9月30日現在)

(単位：千円, %)

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	支 出 済 額	支 出 率
国 民 健 康 保 険	3,022,630	1,197,703	39.6	1,162,119	38.4
事 業 勘 定	3,003,194	1,194,407	39.8	1,155,195	38.5
直 営 診 療 定 施 設 勘 定	19,436	3,297	17.0	6,923	35.6
交 通 災 害 共 済	6,550	2,039	31.1	168	2.6
後 期 高 齢 者 医 療	397,795	112,854	28.4	105,616	26.6
介 護 保 険	3,222,926	1,537,977	47.7	1,313,842	40.8
事 業 勘 定	3,205,008	1,529,970	47.7	1,305,891	40.7
介護サービス事業勘定	17,918	8,006	44.7	7,951	44.4
合 計	6,649,901	2,850,573	42.9	2,581,743	38.8

※ 千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

【第3表】

令和5年度 住民負担の状況  
(令和5年9月30日現在)

住民基本台帳人口数	18,609 人		
住民基本台帳世帯数	9,767 世帯		
市税等収入済額	1,255,806 千円	支 出 済 額	4,384,139 千円
市民1人当たり市税等収入済額	67,484 円/人	市民1人あたり支出済額	235,592 円/人
市民1世帯当たり市税等収入済額	128,576 円/世帯	市民1世帯あたり支出済額	448,873 円/世帯

【第4表】

令和5年度  
財産の状況（令和5年9月30日現在）

## 1 公有財産

## (1) 土地建物

(単位：㎡)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		15,214	6,877
その他の行政機関	消 防 施 設	1,515	1,072
	そ の 他 の 施 設	0	0
公 共 用 財 産	学 校	183,060	41,024
	公 営 住 宅	95,667	30,138
	公 園	602,325	2,788
	そ の 他 の 施 設	432,169	36,850
山 林		4,381,120	0
そ の 他		7,722,984	3,490
合 計		13,434,054	122,239

(2) 有価証券（株券） 191,448 千円

(3) 出資による権利 184,912 千円

(4) 貸付金 0 千円

## 2 基金

(単位：千円)

基金		残高	現金	
			現金	土地・ 有価証券
1	財政調整基金	2,110,117	1,610,117	500,000
2	減債基金	1,003,298	1,003,298	
3	市有施設整備基金	1,772,809	1,772,809	
4	市民交流施設整備基金	1,165,283	1,165,283	
5	退職手当準備基金	181,962	181,962	
6	ふるさと創生基金	203,126	203,126	
7	人材育成基金	104,090	104,090	
8	水産振興基金	55,919	55,919	
9	地域福祉基金	72,364	72,364	
10	読書推進基金	19,148	19,148	
11	国民健康保険診療所基金	2,599	2,599	
12	交通災害共済基金	65,999	65,999	
13	介護保険基金	185,050	185,050	
14	阿久根大島名勝松造成基金	16,160	16,160	
15	地域振興基金	823,103	823,103	
16	国民体育大会運営等基金	15	15	
17	森林環境譲与税基金	19,482	19,482	
18	「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅整備基金	500,239	500,239	
19	土地基金	200,000	141,172	58,828
20	肉用牛特別導入事業基金	9,195	9,195	
21	高額療養資金貸付基金	1,000	1,000	
22	奨学金貸付基金	63,287	63,287	
23	濱風ゆめみらい奨学金貸付基金	95,000	95,000	
計		8,669,244	8,110,416	558,828

※千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

【第5表】

令和5年度  
公債・一時借入金の現在高  
(令和5年9月30日現在)

1 公 債

(1) 一 般 会 計

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
普 通 債	7,632,064	
災 害 復 旧 債	128,723	
そ の 他	3,399,830	
合 計	11,160,616	

※千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(2) 特 別 会 計

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
上 水 道 債	290,887	
簡 易 水 道 債	1,487,944	
国民健康保険施設勘定債	1,021	大川診療所
合 計	1,779,851	

※千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

2 一 時 借 入 金

0 円